

ほっとネット

Contents

- p1 巻頭言**
New normal 時代における健康維持
副院長 消化器内科 安達 雄哉
- p1 新任医師紹介**
- p2 特集**
ロボット支援下手術(ダビンチ手術)が
外科、泌尿器科ではじまっています!
副院長 外科 鶴間 哲弘
- p3 診療科発**
放射線科
放射線科 科長 兵頭 かずさ
- p4 部門紹介**
臨床工学室の紹介
臨床工学室 技士長 浦崎 伸吾
- p5 地域発**
医療法人仁友会 日之出歯科真駒内診療所
院長 小野 智史先生
- p6 健幸な生活へ向けて～フレイル予防への着目～**
リハビリ室 理学療法士 寺田 基
- p6 医事グループの紹介**
事務部課長(医事・企画) 赤坂 守



JR札幌病院 間違い探しゲーム
ほっとネット57号当選者発表

JR札幌病院 基本理念
心の通う医療
信頼される医療
地域社会に貢献する医療

基本方針

1. 社会のニーズに合った専門的な医療を提供するよう、医療技術の向上に努めます。
2. 患者様の権利を尊重し、プライバシーを守ります。
3. 地域の各機関との連携を重視し、地域医療に貢献します。
4. JR北海道の職域病院として、社員・家族の健康増進に寄与します。



H29.10.6 日本医療機能評価機構より
3rdG : Ver.1.1の認定を受けました。



巻頭言

New normal 時代における健康維持



副院長
消化器内科
安達 雄哉

最近テレビやYouTubeなどのメディアでよく見かける、ある経済学者の論文を読む機会がありました。私は経済学について全くの素人ですが、素人なりに解釈すると、“民主主義の度合い”と“新型コロナ感染症の死者数”が正の相関を示し、“2020年の平均経済成長率”は負の相関を示すという内容でした(図1)。つまり、民主主義的な国ほどコロナで多くの人々が亡くなって、経済の失速も大きかった。逆に、専制的な国はコロナの封じ込めに成功し、経済への打撃も小さく済んだということのようです。

そんな中、本稿を執筆中にもロシアはウクライナへの侵略を進めています。「民主主義を行っている資本主義の国々が協力し合えば、それなりに清潔で平和な世界が維持されるだろう」という、私たちが漠然と抱いていた幻想が音をたてて崩れ始めていると感じます。

これからは、個々人が汚染された情報や大衆扇動に惑わされず、自分の頭で考え正しい情報を選択して地に足をつけて行動する。そんな柔軟かつ誠実な姿勢が、社会の健全性を保ち、かつ新型コロナウイルスとの共存を実現するた

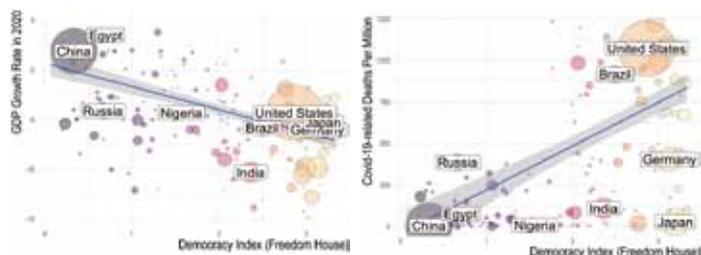


図1.Narita Y. 5, Curse of Democracy: Evidence from 2020 より

めに大切になってくるのではないのでしょうか。

●体を動かす工夫を(運動)

日常の中に体を動かす工夫を取り入れましょう。「動かない」状態が続くと心身の機能が低下することが懸念されます。

●バランスの良い食事や口腔内のケアを(食)

栄養の偏りや低栄養にならないよう、バランスよくしっかりと食事を取りましょう。口腔内の清潔を保つ対策も大切です。

●電話やメールなどで人と交流を(社会参加)

大人数での集会や大声での会話は控え、マスクをした上で横並びで会話する等、工夫して人と交流したり助け合ったりすることが大切です。

話す機会が減ると口の力も衰えがちになりますので、電話も活用しましょう。

●ストレスチェックやストレス解消を(こころの未病対策)

外出自粛要請によるライフスタイルの変化や感染症への不安な気持ちで、心の調子を崩していませんか? そんなときは自分をいたわり、笑顔を忘れずに心の健康を保ちましょう。

これらが“コロナ禍における健康維持に有効な心がけ”とされています。みなさん各自で必要と判断するものを取り入れて、まだ始まったばかりの New normal 時代を息災にお過ごしください。

新任医師紹介

- ①略歴 ②専門分野 ③特技・趣味 ④一言



腎臓内科 **小松 弘明**

①2016年札幌医科大学卒、2016年KKR札幌医療センター初期臨床研修。2018年札幌医科大学付属病院、2019年函館五稜郭病院、2020年道立江差病院、2021年札幌医科大学付属病院。2022年4月より当院勤務。

②腎臓内科 ③キャンプ、映画鑑賞

④患者さんに寄り添う医療を心がけています。よろしくお願い致します。



呼吸器内科 **亀田 優美**

①2002年札幌医科大学卒。市立函館病院、伊達赤十字病院、製鐵記念室蘭病院、函館五稜郭病院、帯広協会病院、札幌医科大学附属病院助教を経て、2022年4月より当院勤務。

②呼吸器内科一般 ③旅行 ④患者さんのお力になれるように努めてまいります。よろしく

お願いいたします。



外科 **金澤 あゆみ**

①2016年札幌医科大学卒。市立室蘭総合病院・札幌医科大学附属病院にて初期研修後、2018年に札幌医科大学消化器・総合、乳腺内分科入局。札幌医科大学附属病院や市立室蘭総合病院勤務をへて、2022年4月より当院勤務。

②消化器外科・一般外科・乳腺外科 ③ドライブ

④患者さんが安心・満足できる医療を目指しています、よろしくお願い致します。

特集

ロボット支援下手術(ダビンチ手術)が外科、泌尿器科ではじまっています!



副院長
外科
鶴間 哲弘

ロボット支援下手術が当院外科では大腸癌(直腸癌、結腸癌)に対して、泌尿器科では前立腺癌に対して開始しています。

ロボット支援下手術とは、ロボットが自動的に手術を行うのではなく(図1)、お腹に数か所の穴をあけ、そこにロボットアームを合体(図2)させ、穴からロボット支援下手術専用の内視鏡手術機器を体内に挿入します。術者は患者と離れたサージョンコンソール(図3)と呼ばれる操作ボックスの中で3D画面に映し出された患者さんのお腹の中を見ながら指で操作指示(図4)をだします。ロボットは術者の指の動きに合わせた内視鏡操作を再現し手振れのない正確な手術を可能にします。

日本のロボット支援下手術は2012年に前立腺手術が保険収載されて以来、さまざまな領域で適応が拡大しています。全世界では1000万例を超えるダビンチ手術が行われ

ています。つまり、20秒ごとに世界のどこかでダビンチ手術が行われていることとなります。ロボット支援下手術の利点は、(1)体に優しい手術(低侵襲手術)、(2)機能性・効率性、(3)確実性、です。具体的には、体に大きな切開創を作らず数か所の穴をあけて行う腹腔鏡と比較すると、ロボット支援下手術では術者の指の動きに連動した自然な動きをお腹の中で再現され狭い空間でも自由に手術機器の操作が可能になります。しかも術者の手振れが補正され正確な手術操作が可能になります。術者はサージョンコンソール内の3Dビジョンの画像でお腹の中を見ながら手術操作をしますが、視野を状況に合わせて拡大することができ、カメラ自体も術者が自在に操作できるので、見たいところを拡大視野にて正確に観察することが可能になります。つまり、ロボット支援下手術では、従来の腹腔鏡手術では見えにくかった細かい血管や神経・臓器などが詳細に確認でき、機能温存(直腸癌手術では性機能、排尿機能温存)をしつつも確実に病変部を摘出する手術が可能になります。

上記のようにロボット支援下手術は非常に優れた手術ですが、現状ではすべての手術がロボット支援下手術で可能な訳ではありません。また、腹腔手術に関しても、当院では3D4K画像による今まで以上の高精度の画像を採用した最新手術機器も導入しています。腸に穴があいて腹膜炎になり緊急性を要する手術では従来の開腹手術も必要不可欠であり、状況に応じた最適な手術を提供しています。コロナ禍においても迅速な手術対応を心掛け、診断から手術までの待機期間も短くスピーディーな外科治療をモットーにしています。手術が必要な患者さんのご紹介をお待ちしています。



図1

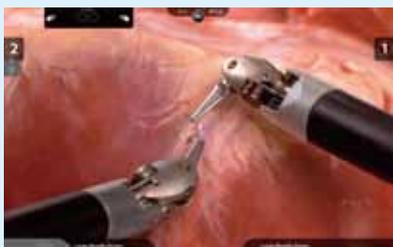


図2



図4

図2、図4はINTUITIVE社より提供



図3



外科 中山 健太

①2015年愛知医科大学卒業、札幌医科大学付属病院初期研修医。2016年市立室蘭総合病院初期研修医、2017年札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科入局。札幌医科大学付属病院、小樽掖済会病院、市立室蘭総合病院を経て2022年4月より当院勤務
②外科一般、大腸、肛門領域 ③食べ歩き ④患者さんが安心・納得するような医療を提供できるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。



泌尿器科 阿部 紀之

①2015年旭川医大卒業。旭川医科大学病院および富良野協会病院にて初期研修。2017年旭川医科大学腎泌尿器外科学講座入局。旭川医科大学病院、北都病院での勤務を経て2022年4月より当院勤務。 ②泌尿器科一般、神経泌尿器科 ③卓球、スノーボード、登山、温泉巡り
④泌尿器科に受診される皆さんのため日々努力致します。よろしくお願いたします。



皮膚科 眞井 洋輔

①2015年北大卒、2015年斗南病院、2016年北大病院、2017年当院、2017年北大病院を経て、2022年4月より当院勤務。
②皮膚科一般、自己免疫性水疱症
③音楽
④適切な治療を患者さんにお届けできるよう努めます。宜しくお願致します。



皮膚科 小住 英之

①2015年北海道大学卒 小樽市立病院初期研修医、北海道大学病院初期研修医を経て北海道大学皮膚科へ入局。2021年日本皮膚科学会 皮膚科専門医取得。2022年北海道大学医学院研究院博士課程を修了。2022年4月より当院勤務。 ②皮膚科、爪疾患 ③テニス観戦
④患者さんに適切な皮膚診療を提供できるように努めてまいります。

診療科発

放射線科

診療内容

放射線科は単純X線写真から最先端画像を扱う画像診断部門と放射線を使った侵襲性の少ないがん治療を行う放射線治療部門から構成されます。当院の放射線科は放射線画像診断部門であり、放射線診断専門医が主治医から依頼されたCT、MRI、核医学検査の画像診断を行い、主治医への報告書を作成しています。放射線治療部門はございません。

当科の特徴

疾患の診断はもちろんですが、治療方針の決定や治療効果の評価に至るまで、現在の医療に画像診断は欠かせないものとなっています。画像診断医は読影室にて複数台のモニターに表示させた各種検査画像を読影し、主治医への画像診断報告書を作成しています。ですから、直接患者さんにお会いする機会は少ないですが、患者さんが受ける医療の質を陰から支えています。

スタッフの紹介

放射線科は放射線科医、診療放射線技師、看護師、クラークとチームを組んで診療をしています。放射線科医は常勤医師1名と複数名の非常勤医師が画像診断にあたっています。診療放射線技師は14名おり、各種画像検査にお

いて、患者さんの協力を得ながら、放射線被ばくを始めとする安全性に十分注意を払って撮影を行います。また、装置が正常に働くように日常的に整備や管理を行っています。看護師は画像検査を受ける患者さんの身体的負担や精神的不安が少しでも軽減するよう介助をしています。検査前から検査終了後まで患者さんの状態に細心の注意を払っています。専任のクラーク2名も配置されており、患者さんが検査をスムーズに安心して受けられるように検査前説明やご案内をしています。

放射線科
科長

兵頭 かずさ

連携について

地域連携室を経由いたしまして、放射線科では各種画像検査のみの依頼もお受けしています。ご紹介いただいた患者さんへの検査前説明、安全確認のための問診を行っております。検査終了後、検査画像が作成されましたら、CT、MRI、核医学検査については医科、歯科ともに画像診断報告書を作成し、画像データとともに速やかに依頼元医療機関にお届けできるように心がけています。また、画像データのみでしたら検査当日に患者さんにお持ち帰りいただくことも可能となっていますので、検査画像を急ぎ確認されたいときにはご相談ください。画像診断報告書は後日お届けいたします。



MRI装置



SPECT CT装置



マルチスライスCT装置

部門紹介

臨床工学室の紹介

臨床工学技士とは、医療機器の専門医療職です。

院内で医師をはじめ看護師や各種医療技術者とチームを組んで生命維持装置の操作などを担当しています。

また、それらの機器を含め院内にある様々な機器の保守管理を実施し、いつでも安心して使用できるよう安全管理を行っております。

医療機器の発展は目覚ましく、今や医療機器なしでは成り立たないほど重要なものとなっております。

日々進化する機器に対し、私たちも管理機器を拡大し対応しております。

現在の管理台数は2000台、簡易点検を含む点検件数は2020年で27000件を超えており、年々増加しております。

機器管理以外に私たちは透析室、血管造影室、手術室、HCU、病棟、ペースメーカー外来、仙骨刺激装置外来など様々な部門でチームの一員として診療支援を行っております。

透析室では2021年度よりシャントエコーを導入し、いち早く血流異常に気が付けるよう管理強化を目指しております。

また、近年の新型コロナウイルス感染症の流行により重症化した方など、人工呼吸器装着状態で院外搬送を行う際にも、医師と共に救急車へ同乗しております。

院内各所で使用される医療機器について、安全に使用できるように2021年度は70件前後の院内学習会に対応しております。

手術室にロボット手術装置「da Vinci」が導入となりました。

2022年3月より手術が開始され、より高度な医療が提供できるようになっております。

それら装置がいつでも安全に稼働できるよう管理を行いながら、使用時には操作をサポートしております。

また、ペースメーカーを使用している患者さんに医師と協力し遠隔モニタリングシステムを導入、利便性の向上と安全管理の強化を進めております。

働き方改革のもと、医師の労働軽減が課題となり、2021年関連法規が改正され我々臨床工学技士法も改正となりました。

告示研修を受け、免許をアップデートすることで行える業務範囲の拡大が可能となり、医師の労働軽減の一助を目指しております。

院内の要望はもちろんのこと、社会的要望にも積極的に答えていきたいと考えております。

2022年4月には2名の新人を迎え、10名体制で365日24時間サポートしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

【資格取得状況】

透析技術認定士 4名

3学会合同呼吸療法認定士 4名

心臓インターベンション技師 2名



臨床工学室
技士長

浦崎 伸吾



地域発

医療法人仁友会 日之出歯科真駒内診療所

院長 小野 智史 先生



日之出歯科真駒内診療所は、平成5年に「病気を持っている高齢者や障がいを持っている方、歯科治療に対し恐怖心や不安が強い方など、それまで十分な歯科治療を受けられなかった方々に、より安全、快適かつ適切な歯科治療を提供する」を理念として全国的にも珍しい有床歯科診療所（14床）として南区真駒内に開設されました。現在は歯科医師12名が在籍しており、大きく4つの部門、第一診療部（一般歯科、矯正歯科、予防指導）、第二診療部（障害者歯科、摂食嚥下リハ）、歯科麻酔・周術期管理部（有病者歯科、病棟）、訪問診療部に分かれて日々の診療に当たっています。

当診療所の特徴は、口腔外科手術ではなく歯科治療を目的とした歯科麻酔管理、入院管理を積極的に行っている点です。歯科麻酔管理とは耳慣れない言葉ですが、鎮静薬や静脈麻酔薬を用いて緊張を和らげ少しうとうとした状態にする静脈内鎮静法や全身麻酔法などを言います。いずれも歯科治療を安全、快適に受けていただくための管理方法です。歯科治療に対し恐怖心の強い方、口腔内に器具などを入れると嘔吐しそうになる方、障害者、幼少非協力児など通常の方法では治療が困難な方々に対して静脈内鎮静法や全身麻酔法を用いて治療を行っています。とりわけ、全身麻酔下歯科治療では、さまざまな工夫を重ね、できるだけ一回の全身麻酔で全ての治療が終えられるようにす

ることで、患者さんの負担軽減を目指しています。

入院下歯科治療では、障害があり通常の移動や通院が困難な方、訪問診療では安全な治療が困難な方を対象に入院下で安全、快適に短期間に歯科治療を行っています。今後もますます増加すると予想される訪問診療の需要に対応し、その後方支援医療機関としての役割を果たし、他医療機関からの依頼にも応じています。入院下では、歯科治療による形態学的回復に加え、摂食嚥下リハ等を通じて機能的な回復を目指し、退院後も訪問診療部にて定期的な口腔管理を行い、口腔衛生、口腔機能の維持に努めています。

今回、JR札幌病院歯科口腔外科とは悪性腫瘍、良性腫瘍や口腔粘膜疾患などの口腔外科疾患の患者さんを紹介、連携させて頂いている関係で、このような投稿の機会を頂きました。今後も密に連携をとらせて頂き、地域医療に貢献して行く所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



医療法人仁友会 日之出歯科真駒内診療所

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目6-9

TEL 011-584-5848

理事長 森 憲弥 院長 小野 智史

診療科目 歯科、小児歯科、矯正歯科、歯科口腔外科

診療時間 9:00~13:00 14:00~18:00

休診日 日曜、祝日（急患は24時間365日受付）

設備 診療ユニット42台 病床数14床 手術室2室

全身麻酔器3台

専門医・認定医

歯科麻酔専門医 6名 老年歯科専門医 3名

障害者歯科専門医 2名 小児歯科認定医 1名

矯正歯科認定医 1名

健幸な生活へ向けて ～フレイル予防への着目～

みなさん、初めまして。理学療法士の寺田基と言います。現在、日本の高齢化が進んでおり、2025年には国民の約4人に一人が75歳以上の後期高齢者となると言われています。人生100年と言われておりますが、健康寿命、つまり日常生活に制限がなく、健康でいられる年齢は、男女ともに70歳代前半と言われております。よって介護を必要とせず健康に生活を送っていく必要があります。

最近、フレイルという言葉をよく耳にすることがあります。フレイルは、健康な状態と要介護状態の中間を指し、身体的機能や認知機能、社会的機能の低下が見られる状態の



① 仰向けになり、片膝を立てます。

ことを言います。道内においては、コロナ禍における外出制限や、積雪期間の課題にもなっています。

フレイルの予防には栄養、運動、社会活動が重要であると言われております。今回は運動に着目し、下肢進展挙上をご紹介します。この運動は、太ももの前にある大腿四頭筋や腹筋群、足を上に持ち上げる腸腰筋を鍛える運動になります。特に大腿四頭筋は歩くときの膝折れを防ぎ、階段を登る際には体を押し上げる際に使用される筋肉となります。



② 伸ばしている方の足を上にあげます。高さは反対の膝を目安にしましょう。1セット15～20回ずつ行いましょう。余裕があれば下ろす時にゆっくり下げてみましょう。



リハビリ室
理学療法士
寺田 基

医事グループの紹介

当院は1915年に国鉄の職域医療機関、日本で3番目の鉄道病院として開院し、1982年に一般の皆さんがご利用できる「広く地域に開かれた病院」になりました。こうした歴史がある当院は、地域の病院として急性期医療を支える一方、職域病院としてJR北海道の社員の健康管理という役割を担っています。

それでは、当院の事務部医事グループの業務を紹介します。

事務部は、病院における診療支援部門の一つとして、病院運営が円滑に進むよう、陰ながら多岐にわたる業務を行っており、その中で、医事グループは、4人のメンバーが医療事務業務全般を行っています。

厚生労働大臣により定められた「施設基準」(医療機関の機能や設備、診療体制等の基準を定め、安全面やサービス面等を評価)、「診療報酬点数」(医療の公定価格)に基づく入院・外来の診療報酬算定や請求など、複雑な仕組みを紐解き、医療保険制度や医療関連法令に基づいた安心・安全な医療を提供するため、つねに医師・看護師をはじめ院内の様々な部門や受付業務等の委託会社と協力しながら業務を進めています。

なお、病院経営に大きく影響する診療報酬は2年に1回改定され、今年度はその改定年度であることから、事前に病院経営層へ報告のうえ、所管となる北海道厚生局へ適切に届出等を行うことも重要な業務です。

また、当院は「北海道がん診療連携指定病院」として指定されており、院内がん登録実務中級者認定を受けた社員が診療情報管理士として精度の高い登録を行っているなど、まだまだたくさん業務があります。

最後になりますが、メンバーそれぞれの高い専門性とチームワークを大事にして、明るく、ほっとできる職場で、病院の縁の下の力持ちであり続けたいと考えています。



ロビー及び総合受付の一部風景



事務部課長
(医事・企画)
赤坂 守

クイズに答えて
景品を当てよう!!

JR札幌病院 間違い探しゲーム

2つの写真から、5つの間違いを探そう!
正解者には、抽選でクオカードがもらえるヨ
息抜き、暇つぶし、頭の体操にやってみよう~



応募要項

応募期間: 令和4年6月1日~6月30日

応募方法: 応募用紙の写真の間違い箇所には○を入れ、地域医療連携センター前に設置の応募箱へご投函、又は、紙面上の写真を切り取って(コピーも可)○を記入し、住所・氏名を記載の上郵送でご応募ください。

応募先: 〒060-0033 札幌市中央区北3条東1丁目 JR札幌病院 地域医療連携センター
※氏名の公表を希望されない場合はペンネームを掲載いたします。

発表方法: 広報誌『ほっとネット』紙面上にて発表いたします。

ほっとネット57号当選者発表

5つのまちがいは



応募総数 **18人**

抽選の結果、次の5名の方にクオカードをお送りいたします。

大村沙音 様、キリンさん 様、はな 様、
ベンちゃん 様、まるたん 様

編集後記

ロシアによるウクライナへの一方的な侵略戦争。民間の住宅や学校・幼稚園などへの無差別な砲撃による民間人の死傷。故郷を離れなければならないウクライナの難民。一人でも多くの病人・けが人を救い、社会復帰できるように日々奮闘する我々医療者には信じ難い殺人行為。

このほっとネットが発行される時には停戦していることを願っております。(from T.)

発行日/2022年6月1日

編集長/長谷川 徹

編集者/石川 剛・小原 健太郎・谷口 きよみ・寺田 基・中澤 英之

藤原 和希・山田 真祐子・渡邊 雄太

発行所/札幌市中央区北3条東1丁目

JR札幌病院 広報誌企画編集委員会

<https://hospital.jrhokkaido.co.jp/>